

# らぶらす

## ライブラリーニュース Vol.38

冬号

2022.12

### 特集：暴力と人権について考える ～所蔵DVDから～

毎年、11月12日から11月25日（女性に対する暴力撤廃国際日）までの2週間は「女性に対する暴力をなくす運動」期間、また、12月4日から12月10日（人権デー）は「人権週間」です。年末にかけて、暴力や人権について考えるきっかけが多くなっています。らぶらすでも、11月から12月いっぱい、パープルリボンツリーの展示を行っています。暴力による人権侵害には、個人に対するもの、組織によるもの、国家によるもの、などさまざまな様相があります。暴力を問題や課題の解決の手段としない方法を探して、今号はらぶらす所蔵のDVDのなかから、暴力と人権に関する作品をご紹介します。

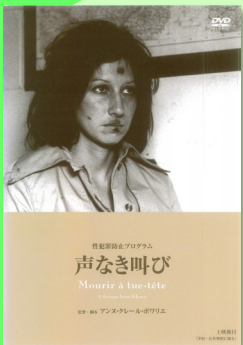


『明日へ』の基となる労働闘争のドキュメンタリー

『外泊』  
キム・ミレ監督  
2009年／韓国

#### 『声なき叫び』

アンヌ・クレール・ボワリエ監督  
1979年／カナダ



性暴力加害者の暴力性、被害者への周囲の無配慮を、実話に基づき描く。カナダでは1983年、「妻以外の女性との性的関係」にしか適用されなかった強姦法を、性暴力に関する法律として改正、強姦罪という名称はなくなり、妻に対する行為も犯罪とされるようになった。角田由紀子弁護士解説付き。

#### 『映画日本国憲法』

ジャン・ユンカーマン監督  
2005年／日本



映画『チョムスキー9.11』(2002年)の監督による、「世界のなかの日本国憲法」をテーマとしたインタビュー集。平和憲法とそれに守られている人権について、日高六郎、C・ダグラス・ラミス、ジョン・ダワー、バアテ・シロタ・ゴードンら12人が語る。『映画日本国憲法読本』にシナリオを採録。

#### 『明日へ』

プ・ジョン監督  
2014年／韓国



大手スーパーマーケットでレジ係をしながら二人の子どもを育てるソニは、非正規雇用者へ下された突然の解雇通達に対し、仲間と共に労組を結成し撤回を求める。話し合いに応じない会社側の解決手段は警察隊による鎮圧。働き方は違っても語り合いやがて協力し合う主人公たちとの対比が際立つ。

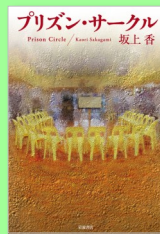
#### 「暴力と人権」に関する図書資料



『言葉が失ったあとで』  
信田 さよ子／  
上間 陽子 著  
筑摩書房  
[367.2 /]



『裸足で逃げる 沖縄の夜の街の少女たち』  
上間 陽子 著  
太田出版  
[367.6 ㍿]



『プリズン・サークル』  
坂上 香 著  
岩波書店  
[326.5 ㍿]



『映画日本国憲法読本』  
島多 惣作／  
竹井 正和 編  
フォイル  
[323.1 ㍿]



『外泊外伝』  
外泊外伝編集委員会編  
現代企画室  
[366.3 ㍿]

#### 施設紹介：AVブース



館内でらぶらす所蔵DVDの  
試聴ができます。  
ご利用の際は受付へ  
お申し出ください。

#### らぶらす資料コーナー（ライブラリー）利用案内

◆らぶらす資料コーナーでは、およそ2万1千冊の書籍やDVD、行政資料などを所蔵しています。◆運転免許証や健康保険証など、住所とお名前の確認できる書類をお持ちいただければ、その場で利用者登録ができます。◆1回につき3点まで、2週間の貸出が可能です(AV資料1週間まで)。◆貸出中の場合は予約ができます。◆図書資料はらぶらすのホームページから検索可能です。

開館時間	9:00-22:00	休館日 毎月第3月曜日(祝日の場合はその翌日)及び年末年始
貸出時間	9:00-21:30	

※開館時間に変更になる場合があります。  
ホームページ等でご確認ください。

# らぶらすシネマサロンのおしらせ



## らぶらすシネマサロン

偶数月第2木曜日

★男女共同参画視点で映画を見る！  
講師による作品解説あり。

★関連の図書資料を紹介。

## ながしっぱなシネマ

毎月第1月曜日

★らぶらす所蔵のDVD作品を  
終日上映！

★予約不要、講師・保育なし

らぶらす3階のオープンなスペース“情報・交流コーナー”で  
プロジェクターとスクリーンによる上映会です。

親子で気軽に、ひとりで気ままに、仲間と気兼ねなく、時間を過ごせます。  
貸出可能なDVDや図書資料から、関連情報を多数ご紹介します！

## 新着図書から

『フリーランスの生活をぶっちゃけてみました。  
結婚しない! 営業しない! 後悔しない!』

大塚 さやか 著  
内外出版



デザイナー&イラストレーターをフリーランスで行っている著者の仕事は1日24時間、年中無休。日々締め切りに追われ、忙しくないとお金がないお金がある時は暇がない、という過酷な商売。それでもストレス解消の山登りや入浴タイム、そして仕事終わりのビールがあればなんのその。たくましくフリーランスに生きる女性の日常を描いた一冊。[590.4 才]

『ヤングケアラーってなんだろう』

澁谷 智子 著  
筑摩書房



家族にケアが必要な人がいて世話や家事を行う子どもたち＝ヤングケアラー。家族の役に立っていると感じる人もいるが、従来の「家族」イメージの伝統的な役割を果たそうと自分では意識しないうちに役割過多となる。ケアをされる側ではなく、ケアをする側が背負わなければならない背景、彼らがおかれた状況を、体験談や調査を基にまとめている。[369 シ]

『失敗しないためのジェンダー表現ガイドブック』

新聞労連ジェンダー表現ガイドブック  
編集チーム 著  
小学館



いまだに圧倒的男性社会のメディア業界から発信されるニュースは、無意識の偏見や思い込みを増幅させている。現代はSNSなどで誰もが発信者になる時代。だからこそ、偏見やステレオタイプによる誤ったジェンダー表現を気づき直す知見が必要だ。ジェンダー表現のリテラシーを高める為に現役記者たちが自省の念を込めて贈る手引き書。[367.2 シ]

なつめやし  
『褒椰子の木陰で 第三世界フェミニズムと文学の力』

岡 真理 著  
青土社



パレスチナの難民キャンプでは、支給のテント暮らしからトタン屋根の家へ、さらに子どもの勉強部屋や寝室を、と願うささやかな夢が、ある日突然、軍によって根こそぎ奪われる。そんな現実、に、“いまここ”を伝えるだけではない「文学」は何ができるのか。世界の明日を創る子どもたち、若い世代に考えて欲しい。ロシアによるウクライナ侵攻後の、願いを込めた新装版。[904 才]

『とりあえずお湯わかせ』

柚木 麻子 著  
NHK出版



謎の「それ」を探求する回、タイトルの元ネタがあかさされる「ライフハック」など、2018年から2022年にかけてのエッセイ。世田谷の書店で自身の幼少期読書歴のフェミニズム性に出会う「ただいま、勉強中」から、性差別発言で炎上する政治家や有名人へ向けた「一冊だけでいいから関連の絵本を読んどけばいいのに……」という金言をこの紙面では紹介したい。[914.6 才]

『情報紙らぶらす85号』



柚木麻子さんへのインタビュー、「エンタメのチカラで激動の時代を生きた女性の姿を伝えたい」を掲載！

